



こんな作品が見られるよ!

(全7作品のうち3作品を紹介するよ)



第23回 BeSeTo演劇祭 鳥取

9月14日(水)～10月10日(月・祝)

BeSeTo演劇祭ってなに?

BeSeToは、中国の首都・北京 (Beijing)、韓国の首都・ソウル (Seoul)、日本の首都・東京 (Tokyo) の頭文字をとって名付けられたんだよ。日本、中国、韓国を代表する演劇をする人たちが集まってお芝居をする演劇のお祭りだよ。1994年から毎年、ソウル、東京、北京の順に場所を変えて開催しているんだ。

日本で開催する今年のBeSeTo演劇祭は東京じゃなくて鳥取を中心に開催するよ。BeSeToのToが鳥取 (Tottori) のToになるんだ。鳥取県では普段見ることができないような作品を上演するから、みんなどんどん見にきてね! 中国や韓国の作品は、言葉は違うけど、日本との意外な共通点が見つかって、二つの国のことが今までより身近に感じられるんじゃないかな。



『孫悟空 白骨夫人編』 (中国)

9月17日(土)午後7時～、9月18日(日)午後2時～
場所:米子市文化ホール メインホール

みんなは「西遊記」を知ってる? 猿の「孫悟空」が活躍する冒険物語だよ。この作品は「西遊記」の中の「白骨夫人」という妖怪との対決のお話をお芝居にした作品だよ。主人公の孫悟空は動きがコミカルでかわいらしく、激しい立ち回りもあって、ワクワクしながら楽しく見られるよ。



『ジャングルブック』 (韓国)

10月1日(土)、10月2日(日)両日とも午後2時～
場所:とりぎん文化会館 梨花ホール



「ジャングルブック」はイギリスのノーベル文学賞作家キップリングが書いたものだよ。この作品はオオカミに育てられた少年モーグリのお話をメインに、動物たちの冒険物語を描いているよ。人間だけでなくオオカミやトラ、アザラシ、コブラ、マングースといった動物たちを俳優さんが力強く演じるよ。みんなも一緒に冒険しているつもりになって楽しんでね。

『詩の教室』 (日本・韓国)

10月9日(日)午後7時～、10月10日(月・祝)午後2時～
場所:鳥の劇場

太平洋戦争やその前後の日本、韓国のことについて考える作品だよ。日本と韓国の劇団が集まって、お互いに調べたことを話したり、一緒に戦争を体験した人にインタビューしたり、広島平和記念資料館を見学したりして作品作りをしたんだ。昔あった悲劇を見つめ直して、どうしたら二つの国がもっと仲良く一緒に生きていけるか、みんなも考えてみよう。



日本BeSeTo委員会代表中島諒人さんからのメッセージ

みなさんは、中国や韓国について、どんなことを知っていますか? 二つの国の人たちは、日本人にとって、遠い遠い昔からとても大切な友人でした。それは今も変わりません。世界のつながりがますます深くなる中で、一番近い友として、中国や韓国の人ともっと仲良くなり、平和で豊かな世界と一緒に作らなければなりません。この演劇祭は、日本、中国、韓国のおもしろい演劇が見られる演劇祭です。演劇を見ることで、三つの国の人たちが、さらに親しくなることを目指しています。



他にもこんな作品を上演するよ
『蟹工船』(韓国)、『マクベス!マクベス!!マクベス!!!』(日本・韓国・中国)
劇的舞踊vol.3『ラ・バヤデーレ-幻の国』(日本)、『かごの鳥の青春-當青春不再懷念蝴蝶的傷』(中国)

チケット料金 大人:2,500円/大学生:2,000円/中高生:500円/小学生:無料
チケット販売窓口 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市文化ホール、鳥の劇場
問合せ先 『BeSeTo演劇祭』問合せ窓口(鳥の劇場内) 電話・FAX:0857-84-3268
電子メール:info@birdtheatre.org ウェブ:www.birdtheatre.org/beseto23rd/